

今週のビルマのニュース 2010年7月2日【1025号】

軍政、検閲体制を強化

・検閲局が新規則を導入した。政治記事の掲載への制限がより厳しくなった（28日イラワディほか）。

国民民主連盟と国民民主勢力がロゴをめぐる論争

・5月に解党した国民民主連盟（NLD）の元議員らが結成した国民民主勢力（NDF）のロゴが公表された。NLDが1990年総選挙の際に使い、その後NLDのシンボルとなった編笠の画像を使用しているため、NLD側から非難の声が上がっている。ティンウーNLD副議長は「NDFはNLDと無関係の団体だ。NLDは解党したが団体として存続しており、NDFはロゴをまねるべきではない」と述べ、選挙管理委員会に異議申立をすると述べた。NDF側は「ロゴはNDF独自のもの。NLDが商標登録でもしたなら別だが、そうでなければ文句を言う権利はない」と述べた（30日イラワディ、1日DVB）。

G8首脳宣言がビルマ問題に言及

・6月25～26日に開かれたG8首脳会談の首脳宣言はビルマ民主化問題に言及し、「ミャンマー政府に対し、アウンサンスーチー氏を含むすべての政治囚を直ちに釈放し、民主化勢力及び少数民族代表と、国民和解に向けた実質的な対話を行うよう要請する」と述べた（宣言本文）。民主化支援団体などは、これまで対話を拒否してきた軍政の側に対話開始を求めている点が評価できるとしている。

シュワルツ米国務次官補がタイ・ビルマ国境を訪問

・シュワルツ米国務次官補（人口・難民・移民担当）が6月中旬にタイ・ビルマ国境地域を訪れ、メーラ難民キャンプや、難民や移民を無料で診療するメータオ診療所などを訪れた。ビルマ難民が置かれている状況について次官補は「ビルマで総選挙が実施されても、タイにいる難民が帰国できるような安全な条件が整うことにはならないだろう。難民が帰国できるかどうかは現地の実地の状況に基づいて判断するべきで、選挙が行われたかどうかに基づくべきではない」と述べた（6月25日米国務省）。

ビルマの人口が5900万人を超えたとの発表

・ビルマの移民・人口省の発表によれば2009年末現在のビルマの人口は5912万人。このうち3074万人が18歳以上で、今年実施が計画されている総選挙で投票する資格を持つとのこと（1日AP）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし

注目の新刊

・根本敬「抵抗と協力のはざま～近代ビルマ史のなかのイギリスと日本」岩波書店

・ベネディクト・ロジャーズ ”Than Shwe: Unmasking Burma's Tyrant” (Silkworm Books) 軍政トップ・タンシュエ上級大将について。郵便局員がどのようにして世界有数の独裁者になったのか？

イベント情報

・総選挙に反対・国連事務総長にアウンサンスーチー氏と全政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう求めるアピール行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会（国連大学前、7月毎火曜 15～16時）

・第93回みみの会 宇田有三氏講演会『ビルマ全土を歩いたフォトジャーナリストが明かす―「閉ざされた国ビルマ」の今』（東京都しごとセンター5F第2セミナー室、7日19時～）

・明治学院大学国際平和研究所「現代の人身売買を考える」セミナー～タイにおけるミャンマー人の労働搾取型人身売買とエンドユーザーの私たち～講師：山田美和氏（アジア経済研究所）（明治学院大学白金校舎2号館2201教室、9日18時半～）

・上智大学アジア文化研究所講演会「上座部仏教と暴力」講師：川並宏子氏（ランカスター大学教員）（上智大学中央図書館911会議室、15日18時～）

・ビルマ市民フォーラム例会（池袋・ECOとしま8階、31日18時～）

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
